

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年4月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694500051
法人名	医療法人 健育会
事業所名	グループホーム みんなの家
所在地	鹿児島県始良市西餅田139番地4 (電話) 0995-66-2541
自己評価作成日	令和6年3月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年4月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・1人1人の思いを大切に、いつまでも健やかで自分らしく楽しく安心して過ごせるように支援を行ないます。
- ・家庭的な雰囲気の中で1人1人が有する力を発揮し、いきいきと生活が出来るように支援を行ないます。
- ・母体が医療法人の為、日常の健康管理が出来、体調急変時にも速やかに対応が出来ます。
- ・年間行事を行い、季節の変化を感じ取れるように工夫をしております。
- ・それぞれの残存機能を考慮し、出来る事を日課にして意欲低下防止に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体医療機関に隣接して建てられており緊急時を含めた24時間の医療連携体制が整っている。毎日の往診や週2回の看護師による健康管理が行われ、日々の医療・健康面でも本人・家族の安心となっている。
- ・管理者及び職員は、コロナ等の感染予防のため地域行事への参加や外出は控えているが、事業所内でのレクリエーションや一人ひとりのペースや過ごし方に応じた支援に努めている。また、利用者の残存能力維持のために、できるところは本人に行ってもらうよう取り組んでいる。
- ・家族との面会は感染予防のため窓越しや玄関先で行っているが、家族の要望に沿っての外出・外泊は支援している。事業所からも毎月「みんなの家」便りにコメントや写真を添えたり、ラインで動画を送る等で近況報告を行い、家族との関係が途切れないように努めている。
- ・管理者は、職員の意見や要望の把握に努め、必要に応じて法人に報告し職員が働きやすい就業環境になるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内の目に付きやすい場所に掲示し、職員の意識づけを行っている。理念に沿った統一ケアを心掛けている。	理念をホールや事務所に掲示し、職員は各自で確認しており、パンフレットにも掲載している。毎月ミーティング時にケアの振り返りを行ない、理念の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域との関わりを継続するために自治会に加入している。2ヶ月に1回運営推進会議を行っているが、現在感染症予防のため文書で報告を行なっている。	自治会に加入し地域行事は把握しているが、参加は見合わせている。散歩時に近隣の住宅で毎年花見をさせてもらったり、住民から野菜の差入れを受ける等、近隣住民とは交流をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ご入所者やご家族様の希望があればかかりつけ医への受診を支援している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回文書にて施設での取り組みや運営状況の報告を行い、助言やご意見を頂きサービスの向上に生かしている。(本年度は全回書面で報告を行なった。)	2ヶ月に1回の会議を書面で実施し、資料を手渡したり、郵送している。委員の意見は電話で聞き、事業所のヒヤリハット事例への対応等に活かしている。委員から書面開催の継続の意見が出されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険の更新や他保険者から入所に関わる相談を行なっている。	市の担当者とは、運営推進会議資料手渡し時に意見交換を行ったり、相談に出向いて連携を取っている。市の集団指導時に身体拘束についての研修を受講している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアについては年に2回勉強会を行い全職員で身体拘束の弊害について理解をしている。また行動制限やスピーチロックは行なわ無いように周知している。玄関の施錠については、離園防止と不審者対策の安全対策としてご理解を頂いている。	指針があり、委員会は法人で年2回、事業所で委員会と研修会を年2回実施している。スピーチロックは気づいた時に注意を促している。玄関の施錠は市の了解を得て実施しているが、外に出たい利用者には職員が付き添って気分転換を図る等、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内で開催される勉強会や事業所で行なう勉強会で全職員が高齢者虐待防止法等について理解をし高齢者虐待防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会に参加をし、学んだことを事業所の勉強会で職員に伝えている。勉強会で制度の理解を深め、適切な支援が行えるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所契約は御入所者様とご家族様に契約の内容と重要事項の説明を行ない、理解して頂き署名・捺印を頂いている。解約や改定においても入所時に説明を行ない承認を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議にご家族様の代表に参加を頂き、要望や意見交換を行なっている。また、面会時やカンファレンスなどご家族様との面談の機会を持ち、ご家族様の思いやご意見が出しやすい雰囲気作りに努めテイル。出されたご意見は職員間で共有し対応を行なっている。	本人には日常会話で要望等を把握し、家族の協力を得て対応している。家族には面会時に要望を聞き、要望に沿って外出・外泊も対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングや日頃の会話の中で職員の意見を聞き、話し合いを持ち、運営に反映している。	管理者は、職員の意見を毎月のミーティングで聞く機会を設けており、必要時は法人に報告して意見を反映できるよう努めている。年1回の個別面談以外にも個別相談は管理者が受けて対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎年チャレンジシートを活用し、職員は年間の目標を立て意識を持って業務に取り組んでいる。管理者は職員と面談を行ない、代表者に報告を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や事業所・法人内研修等に参加をし、知識の習得を行っている。また、介護福祉士取得や実務者研修に参加を行ない、働きながら資格取得が出来るように配慮・協力を努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修参加時には積極的に意見や情報交換を行ない、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の性格、生活歴、趣味嗜好を元にアセスメントを行なう。利用者様とご家族様から聞き取りを行ない、思いや考えを理解しご本人の気持ちに寄り添ったケアを行ない安心して生活ができる様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様とご家族様から困りごとの聞き取りを行ない、問題解決に向けての話し合いを重ねながら不安の解消や要望に応え、信頼関係の構築を行なっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族様より聞き取りを行ない、利用者様が不安なく安心安全にご自分のペースで生活ができる様にケアプランに沿ったケアの実践を心掛けている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の出来る事（洗濯物干し、畳み、お盆拭き等）を手伝って頂く事で役割を持ち、自分で出来る事に喜びを感じられる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様から外出・外泊の要望がある時は感染症予防に努め、ご家族との交流を大切にしている。面会が出来ないご家族様にはホームでの生活の様子を毎月のお便りでお知らせを行なっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルス感染症やインフルエンザの為、地域でのいきいきサロンへの参加や馴染みの美容室への外出は出来ていない。また、面会のご家族様のみ行なっているため、地元の方との交流が難しくなっている。	家族との窓越し面会や外出・外泊等での交流を支援し、事業所からも毎月コメント・写真入りの近況報告やラインで動画を送付し関係継続に取り組んでいる。職員の受診同行時にドライブをすることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係性を把握し、トラブルにならないように席替え等を行なっている。レクレーションや家事作業をお願いする時は、利用者様同士が協力し合える関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退所で一時サービス利用が途切れた時にご家族様と連絡をとったり、ご相談があればフォローを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の意見を尊重し、思いに寄り添ったケアに努めている。また、意思表示が難しい方には表情や行動から思いを理解する様に努めている。	日々の関りの中、特に入浴介助時に話を聞くことが多く、本人の意向の把握に努めている。困難な場合は、アセスメントを参考に話しかけ本人の反応や様子を見て推測して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様から生活歴や趣味や嗜好を伺い、ご本人が望む暮らしについて理解をし、職員間で話し合い支援を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人お一人の一日の過ごし方を把握し、心身の状態や特異なことを見極めながら、家事のお手伝いをお願いしている。残存機能が維持、発展出来る支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族様の意向や希望、主治医・看護師等の意見を参考に介護支援計画を作成している。また、毎月全職員でモニタリングを行い、本人の能力や健康状態を考慮し、その人らしい生活が出来るようにプランの見直しを行っている。	本人や家族に希望を聞き、支援の中で把握した職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは毎月、計画の見直しは6ヶ月毎及び状況変化時に実施し、現状に合った介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の状態の変化に伴い、個別記録を残している。また、職員全体でご利用者様の状況を把握し、介護計画に沿ったケアを実践しながら、見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族様のニーズに沿った介助を行い、外出や散歩などの要望があった時は要望に沿った支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年に2回消防署に届け出を行い避難訓練を行っている。感染症予防を考慮し、消防署の立ち合いはその時々でお願いをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族様の希望するかかりつけ医への受診を支援し、事業所との関係を築きながら適切な医療が受けられるように支援を行っている。	契約時に希望を確認し、全員が母体医療機関をかかりつけ医としている。日曜日、祝日以外は毎日往診があり24時間の医療連携体制が築かれ、病院看護師による健康管理も週2回行われている。他科受診は家族対応を基本にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	医療連携の看護師への情報提供を行い、主治医から支持を得ながら適切な支援を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院時には情報提供を書面にて行い、不明な点については情報交換を行っている。退院時には安心して生活が出来るようにサポートを行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入所時にご本人とご家族様に急変・重度化・終末期について説明を行い、理解をして頂き、同意を書面で行っている。	契約時に重度化等の場合の対応について選択肢も含めて指針で説明し、同意書をもらっている。重度化の場合に主治医から家族に病状を説明し、家族の意向を確認している。家族の意向に沿って、事業でできる支援に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時や事故発生時にはマニュアルに従い、対応が出来るように勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署に届け出を行い、年2回昼夜想定での避難訓練を行っている。隣接された法人内や研修などで災害時（地震・水害・津波）について勉強会を行われ、災害時の協力体制も出来ている。非常食や水の備蓄もされている。</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施し、消防署の立ち合いは受けていない。訓練への参加はないが、消防団に協力を依頼している。非常用の備蓄は、2～3日分の水・レトルト食品・缶詰・カップ麺等の食料及びカセットコンロを準備しており、台風時は発電機を借りている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的に虐待防止や人権擁護について勉強会を行い、利用者様に対して人格を尊重するお声掛けを行っている。また、大きな声を出さずに、利用者様の近くに行き行って優しい声掛けを行うように努めている。	研修を実施し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。利用者が驚かないよう小さな声でゆっくりと話しかけ、排泄介助時は羞恥心へも配慮するよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様のペースに合わせ、急がず事無く、ご自分の意思を伝えやすいように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本に野意思確認を行いながら、個人の意思を尊重しレクリエーション等への参加の声掛けを行っている。個々の希望に沿った過ごし方の支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時には更衣や整容を支援し、清潔な身だしなみに気をつけている。洋服等はご家族様に準備をして頂き、その人らしさを心掛けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の行事に合わせた献立や、誕生日には好みの献立を提供している。盛り付けも季節を感じられるように彩りよく工夫を行っている。ご利用者様と一緒に梅やキンカン漬けの下ごしらえなどを行い季節を楽しんで頂いている。	献立は職員が作成し、個々に応じた食事形態で提供している。利用者も一緒に保存食づくりを行ない、誕生日の好物や季節の行事食・外注の弁当等の提供等、季節を感じたり食事を楽しんでもらえるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量と水分摂取量は毎日記録を行い、健康管理を行っている。個々の咀嚼や嚥下能力に合わせ、お茶ゼリーの提供やとろみ・刻み・ミキサー食等に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前には緑茶を使ったうがい、食後には口腔ケアを個々の能力に合わせて歯ブラシや口腔ケアスポンジを使い行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンの把握の為排泄チェック表を作成し職員間で情報共有を行っている。夜間居室内でのポータブルトイレの使用も行い、排泄後のふき取りや、ズボンの上げ下げ等、個々の能力に合わせた支援を行っている。	個々の排泄パターンを参考に声かけ・誘導を行い、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。排泄用品の改善や使用量減少等の事例もある。夜間は、身体状況等でポータブルトイレやオムツを使用する利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表、食事量、水分摂取量の記録を活用し、排泄コントロールを行っている。牛乳の提供や便秘薬の調整などを行い、スムーズな排便が出来るように工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご利用者様のペースや体調に合わせて入浴を行っている。入浴の前後には水分補給をして頂き健康管理に努めている。また、入浴を楽しんで頂ける様にゆず湯やしょうぶ湯（入浴剤）を行っている。	週2回午前中に入浴を支援している。体調や身体状況に合わせて浴槽やシャワー浴を利用し、必要に応じて同性介助や着脱時の2人介助を実施している。入浴を嫌がる利用者は、人や日を変えて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様が心地よく感じて頂ける様に湿度や室温、音や明るさに配慮している。また、お一人お一人の趣味に合わせて、読書や塗り絵を楽しんで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬を整理管理を行い、服薬管理を行っている。処方の変更があった時は全職員が把握できるように申し送りや連絡ノートを活用している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人に応じた過ごし方楽しみ方をモニタリングで話し合い支援を行っている。また、洗濯物畳や料理の下ごしらえ等を職員と一緒にやる事で生きがいや張り合いのある生活を送れるように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族様の希望により外出・外泊を行っている。ご家族様には感染症予防対策にご協力を頂いている。気候が良い時は外気浴を行っている。	天候の良い日は外気浴や散歩を行っている。年間計画を立てているがコロナ等の感染予防のため外出支援は見合わせており、散歩で近隣の桜や民家の花を見に行く程度である。家族の要望で外出・外泊をする利用者もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所時にご家族様からお小遣いをお預かりしている。必要なものはご家族様や職員が買い物を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人から希望があればいつでも電話が出来るように支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は清潔で明るく、音、光、湿度や温度に配慮している。また、コロナ感染症予防のため、定時に換気とアルコール消毒を行っている。ホールの壁には四季が感じられるように職員やご利用者様の作品や塗り絵を飾っている。	ホールは中庭からの採光で明るく、空気清浄機や加湿器・エアコンで適度な室内環境に調節され、換気は窓を開けて行っている。壁に季節の作品等を飾り、利用者が好きな場所でくつろげるようソファも置き、居心地よく過ごしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>レクレーションを行ったり、仲が良い方同士の座席を工夫して、会話を楽しむ機会を設けている。一人で過ごす事を好まれる方にはお茶やお菓子を静かに楽しめるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅で愛用されていた生活用品や思い出の写真等を配置して、安心して過ごす事が出来るように工夫をしている。</p>	<p>居室には、ベッドやタンス・机・椅子・エアコン・加湿器が備えてある。本人は自宅等で使い慣れた寝具やハンガーラック・棚・3段ボックス・テレビ等を持ち込んだり写真を飾り、安心して過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩行状態や認知機能の状態を考慮し随時、部屋替えや席替えを行っている。また、トイレや居室には表札を作って分かり易くし、一人で移動が出来るように工夫を行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない